

公益財団法人瓦礫を活かす森の長城プロジェクト
事業経過報告と今後の予定について

平成 25 年 10 月 29 日現在

○経過報告

【平成 24 年】

- 7 月 1 日 一般財団法人瓦礫を活かす森の長城プロジェクト設立
11 月 9 日 どんぐり採種ツアー開催 [約 11 万粒を採種]
～ 11 日 (宮城県仙台市周辺、参加者約 100 名)

【平成 25 年】

- 2 月 1 日 公益財団法人へ認定
2 月 21 日 森のプロジェクト・チャリティーオークション開催
(パレスホテル東京、参加者約 300 名)【(社) 東峰会】
3 月 22 日 森の防潮堤創造事業への指定寄附金制度の認定を受ける。
4 月 13 日 森のプロジェクト・チャリティーオークション開催
(大阪・うめだ阪急、参加者約 400 名)【(社) 東峰会】
5 月 2 日 林野庁「みどりのきずな再生プロジェクト」に参画し、植樹祭
(宮城県仙台市荒浜、参加者約 400 名、植樹本数 3,500 本)
5 月 13 日 朝日新聞(全国版)に森の長城応援団広告掲載
6 月 9 日 宮城県岩沼市「千年希望の丘」創造事業に参画し、植樹祭
(仙台空港東南地区、参加者約 4,500 名、植樹本数約 3 万本)
※倉木麻衣(エフエム東京協力)、デューク更家、くまモン、
日本テレビ NEWS ZERO キャスター出演他
6 月 30 日 国土交通省主催岩沼海岸植樹式に参画し、植樹祭
(宮城県岩沼市東南地区、参加者約 700 名、植樹本数 7 千本)
8 月～9 月 タブノキの実採種
10 月 6 日 福島県南相馬市にて、「鎮魂の森 南相馬市復興市民植樹祭」
(鹿島区南右田、参加者 3,000 名、植樹本数 2 万本)
※AKB48 北原里英・梅田彩佳・高城亜樹、くまモン出演他
11 月 16 日・17 日 どんぐり採種ツアー(仙台市周辺)
11 月 31・12 月 1 日 苗木ポット育苗指導者養成研修会(千葉県君津市)

○今後の予定

- 平成 26 年 5 月 31 日 第 2 回宮城県岩沼市植樹式に参画予定

以 上

● これまでの植樹本数

合計 60,500 本

● これまでのdonguri採種数

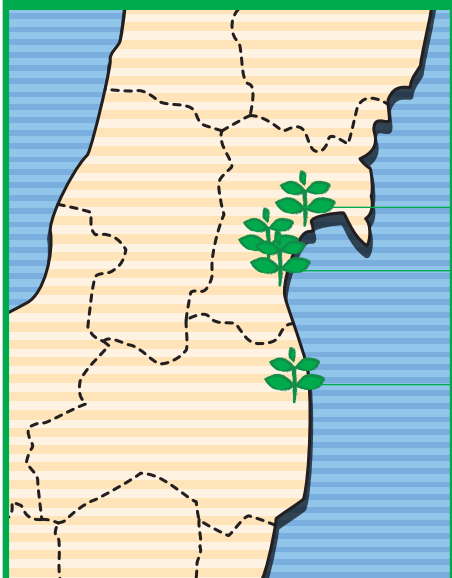
合計 200,000 粒

● これまでの植樹祭やdonguri採種にご参加いただいたボランティア数

延べ 8,400 名

※財団設立時(平成24年7月)から、平成25年10月現在

これまでの植樹地



[donguri採種]

宮城県
平成24年11月9～11日

- 採種数: 11万粒
 - 参加者: 延べ300名
- ポット苗として
育てます。



[植樹]

宮城県仙台市荒浜
平成25年5月2日

- 苗木: 3,500本
- 1,000㎡
- 参加者: 400名



[植樹]

宮城県岩沼市
平成25年6月9日

- 苗木: 30,000本
- 9,000㎡
- 使用瓦礫: 4万t
- 参加者: 4000名



[植樹]

宮城県岩沼市
平成25年6月30日

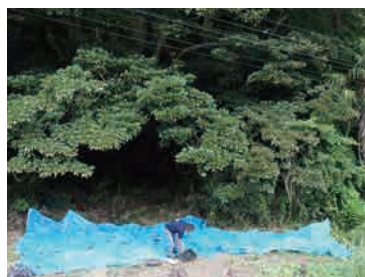
- 苗木: 7,000本
- 参加者: 700名



[植樹]

福島県南相馬市
平成25年10月6日

- 苗木: 20,000本
- 5,600㎡
- 使用瓦礫:
基盤土のほとんどに使用
- 参加者: 3000名



[タブの実採種]

岩手県・宮城県・福島県
平成25年8月～10月

- 採種数: 9万粒
- ポット苗として
育てます。



ドングリ採種ツアーのご報告

開催日：平成24年11月9～11日

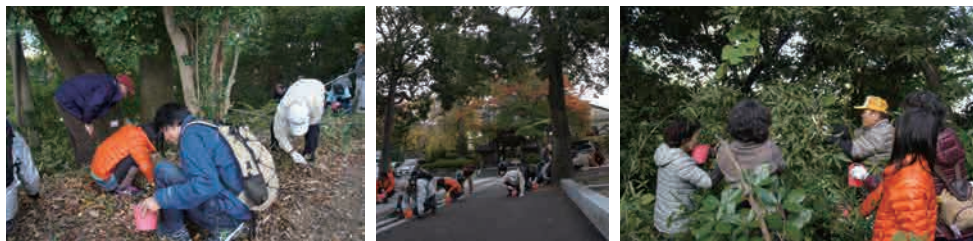


青葉神社にて集合写真



採種数の合計はなんと10万粒を超えました！

上の写真は、最終日に撮影した集合写真です。参加者の皆さまには4班に分かれいただき、仙台市内エリア、名取・岩沼市エリア、塩竈・多賀城市エリア、角田市エリアの4箇所で採種していただきました。今年は夏が長引き、この時期になってもドングリがあまり採れない地域もありましたが、「良い母樹から1粒でも多くのドングリを採種しよう!」を合い言葉に懸命に拾いました。



採種の様子。ドングリのほか、シロダモやヤブツバキなども採種。

全班が揃って採種した3日目の青葉神社では、多くのマスコミの方にお越しいただきました。伊達家18代ご当主伊達泰宗氏も駆けつけてくださったり、東北楽天イーグルス・クラッチ君や、仙台おもてなし集団伊達武将隊の皆さま、森の精霊一緑の戦士・植樹マンも応援にきてくださり、大変賑やかな採種となりました。



中央写真左から 伊達家18代当主伊達泰宗氏・細川理事長・岡田 康彦理事・ロバート キャンベル理事



写真左 日テレNEWS ZERO取材。八木早希キャスター。 写真中央 東京FMの高橋万里恵さん

仙台市・荒浜植樹祭のご報告

開催日：平成25年5月2日



植樹後の集合写真



5月2日（木）宮城県仙台市若林区荒浜で植樹祭を行いました。
当日は、ボランティアの募集枠 300 名のところ、約 400 名の方々にご参加いただき、合計 3,500 本の苗木を植樹いたしました。植えた樹種は土地本来の植生の広葉樹、全 13 種です。約 15 年から 20 年ほどでいのちを守る森へと育ちます。今回ご参加いただいたボランティアの皆さまは、日本全国（北は山形から、南は愛媛から）、地元と地元の高校からおいでいただきました。風が強い中、皆さまのお力で無事植樹祭を終えることができました。



植樹した苗木に掛けた木札

参加協力費を頂戴したボランティアの皆さまには、「希望の木札」を配布。植樹に対するそれぞれの思いを書き添えて、苗木に掛けていただきました。この木札は、気仙大工の方が津波の被災木材や間伐材で作った、森の長城プロジェクトオリジナル木札です。

宮城県・岩沼市植樹祭のご報告-1

開催日：平成25年6月9日



植樹祭前の「千年希望の丘」



植樹祭当日の様子



4000名のボランティアは77ブロックに分かれて植樹しました。



6月9日（日）宮城県岩沼市下野郷字浜地内で植樹祭を行いました。

当日は、ボランティアの募集枠3000名のところ、約4000名の方々にご参加いただき、合計30,000本の苗木を植樹いたしました。植えた樹種は土地本来の植生の広葉樹など、全17種です。約15年から20年ほどでいのちを守る森の防潮堤へと育ちます。今回ご参加いただいたボランティアは、日本全国からお越しになった方や（北は北海道から、南は宮崎まで）、地元の方や企業の団体などでした。暑い日差しの中、皆さまのお力で大規模な植樹祭を無事終えることができました。

また、植樹祭に使用された苗木代と植樹資材費のほとんどは、当財団に対する多くの企業や個人様のご寄付によって賄われました。今後も岩沼市への協力を継続して参りたいと思います。

宮城県・岩沼市植樹祭のご報告-2

開催日：平成25年6月9日



当プロジェクトにご賛同していただいた、
歌手の倉木麻衣さん。
式典へも参加していただきました。
Tシャツとキャップは、
森の長城プロジェクト公式オリジナルグッズです。



写真左から デューク更家さん・東京FMの高橋万里恵さん・日テレNEWS ZEROの村尾信尚さん 山岸舞彩さん・くまモン

当プロジェクトにご賛同していただいた、倉木麻衣さん、デューク更家さん、くまモンや仙台おもてなし集団伊達武将隊の皆さまは、式典や植樹の後に行われたステージイベントに参加してくださり、会場のボランティアさんを楽しませてくれました。

倉木麻衣さんは、震災直後から復興支援に携わり、6月30日からスタートする全国ツアー、再生（Reborn）、再出発（Restart）をテーマにした「LIVE PROJECT“RE”（リ）」に先立って植樹祭にご参加いただくことになりました。当日の様子は、森の長城プロジェクトを応援するTOKYO FMのご協力により、番組「いのちの森 Voice of Forest」でも放送されました。また、その他にも多くのマスコミに取材していただき、テレビ・新聞などでニュースになりました。

植樹祭前の準備工の様子

大規模な植樹祭に先駆け、6月3日より準備工ボランティアによる植樹祭準備が始まりました。当財団や共催の東北協議会メンバーも合わせ、1日約20～40名が作業にあたりました。植栽面積約8,700㎡を77ブロックに分けるため、それぞれのブロックに苗木や稲ワラ、移植ゴテなどを必要数配置しました。ワラは束ねが大きいもので約25kg、小さな束ねでも約20kgあり、男性でも大変な重労働です。また、敷きワラに張るワラ縄の切出し、加工作業は約5400束あったため、丸2日間必要としました。ワラ縄を引っ掛けるための竹杭は全部で5,700本ほどで、1本1本手作業で打ち込んでいきました。また、前日には植樹リーダーの研修を宮協昭の元で行いました。

準備工ボランティア、植樹リーダーとして従事していただいた皆さま心より感謝申し上げます。また、準備工は随時ボランティア募集しております。より多くの方々にご参加いただけますようよろしくお願いいたします。



宮城県岩沼海岸植樹式のご報告

開催日：平成25年6月30日

平成25年6月30日（日）宮城県岩沼市下野郷地内、仙台空港の東側の海岸で植樹式を行いました。ボランティア約700名にご参加いただき、約7,000本の苗木を植樹いたしました。今回は国交省が主体となり、コンクリートの防潮堤の陸側に試験的に植樹をするというものでした。ボランティアは地元や日本全国、外国からもお出でいただきました。また、植樹式に使用された苗木代と植樹資材費のほとんどは、当財団に対する多くの企業や団体、個人様のご寄付によって賄われました。



海岸沿い約100m



国土交通省 太田大臣も出席



地元の子どもたちも参加



植樹した苗木に稲わらでマルチング



【希望の木札】外国からのボランティア
「世界は忘れない！ ブルーバレー高校一同」



【希望の木札】外国からのボランティア
「強さは逆境を超える」



鎮魂の森 南相馬市復興市民植樹祭

開催日：平成25年10月6日

10月6日(日) 福島県南相馬市鹿島区南右田字二ツ沼地内で植樹祭を行いました。

南相馬市鹿島区南右田行政区は、東日本大震災の津波で70世帯すべてが津波で流され、54人の方々が犠牲となるという、大きな被害を受けた地域。海岸からほど近い植樹地は約5,600㎡。福島県と南相馬市によって盛土が造成され、植樹祭に使用された苗木代と植樹資材費のほとんどは、当財団に対する企業や団体、個人様のご寄付によって賄われました。

当日は、地元や全国からお越しいただいたボランティア約3,000名の方々にご参加いただき、合計20,000本の苗木を植樹いたしました。植えた樹種は土地本来の広葉樹など、全15種です。基盤土のほとんどが震災瓦礫である津波堆積土やコンクリートガラで造成されており、表層土には苗木が育ちやすい土壌改良をほどこしています。

植樹した苗木は、約15年から20年ほどでいのちを守る森へと育ちます。

また今回は、当プロジェクトに賛同していただいているAKB48のメンバー北原里英さん、梅田彩佳さん、高城亜樹さんやくまモンも来てくださり、ボランティアの皆さまと一緒に植樹してくださいました。



AKBのメンバーも一緒に植樹



ロバート キャンベル理事も参加

参加したAKB48メンバーからのメッセージです。

参加したみなさんの“未来に向かってがんばろう”っていう想いが強く伝わってきました。私もここに来て、すごく力をもらいました。(梅田彩佳)

本格的に木を植えたのは初めてだったんですが、童心にかえて楽しみながらできるのが魅力的だな、と思いました。(北原里英)

こんなにたくさんの方が集まって植樹をするなんて、ほんとうに素晴らしいと思います！未来につながってる感じがします。こうやって植えた木がいろんな役割を担ってくれると聞いたので、強い、大きな木に育ってほしいです。

(高城亜樹)

平成25年度決算概要

一般財団法人（平成24年7月1日～平成25年1月31日）

公益財団法人（平成25年2月1日～平成25年6月30日）

〔単位：千円〕

科 目	一般財団決算額	公益財団決算額	備 考
寄附金収入	117,510	146,690	2,150件（内、指定寄附金が、 20件 95,059千円）
助成金収入	0	4,400	イオン環境財団より
雑収入	0	700	
収入合計	117,510	151,790	

科 目	金 額	金 額	備 考
事業費	29,548	65,125	
1、森の防潮堤創造事業費		48,845	植樹祭（3回）他
2、ポット苗育苗事業費	9,708	0	ドングリ採種他
3、情報提供事業費	19,840	16,280	広報・宣伝他
管理費	882	845	事務経費他
支出合計	30,430	65,970	

次年度繰越金

172,900

多大なご支援をいただいている皆様（平成 25 年 6 月 30 日現在）

江副 浩正	子どもの平和と生存のための童話館基金	トヨタ自動車株式会社	三井住友トラスト・カード株式会社
社団法人東峰会	株式会社紫野和久傳	株式会社 JX ホールディングス	上智大学昭和 38 年卒業生
日本の森を守る地方銀行有志の会	財団法人不審菴	三井住友信託銀行	ゼラチンシルバーセッション
宗教法人神慈秀明会	スガハラテクノ株式会社	神社本庁	株式会社伊予銀行
金岡重夫	岩崎俊男	株式会社ニック	株式会社サン・アロイ
株式会社菅原	グランディハウス株式会社	社団法人日本燐寸工業会	妙元寺
株式会社東海	森ビル株式会社	株式会社コロナ興産	日蓮宗法性寺
株式会社アミナコレクション	株式会社構造計画研究所	有限会社ファイセル	加藤登紀子
一般社団法人日本生花通信配達協会	片倉素子	株式会社コロナ	鈴木京香
株式会社マイクロ テクニカ	東京ロータリークラブ	学校法人福山大学	瀬戸内寂聴
びわ湖紅葉株式会社	株式会社セイブシステムリンク	阪急電鉄株式会社	王 貞治
株式会社エフエム東京	長岡禪塾	株式会社カナオカ機材	石川さゆり
株式会社ファンケル	株式会社パラッツォ	株式会社小学館	市川猿之助
増井光子・増井妙子	株式会社エイセキ	株式会社杏林予防医学研究所	クルム伊達公子
タカハシユウスケ	医療法人高浜内科	白山比咩神社	利根川進
新井 光子	ホンダヒトシ	方光厄除地藏尊会	
上田 三起	金岡時子	谷松屋戸田商店	
株式会社 LIXIL グループ	株式会社 F.I.A	一浦会	
株式会社フォーラムエンジニアリング	全国美術商連合会	公益社団法人整体協会	
三菱商事株式会社	鳥取ロータリークラブ	三井住友海上あいおい生命保険株式会社	

公益財団法人瓦礫を活かす森の長城プロジェクト 役員名簿

平成25年8月27日現在

	氏名	肩書
理事長	細川 護熙	元首相
副理事長	宮脇 昭	横浜国立大学名誉教授
理 事	岡田 康彦	公益社団法人日本環境教育フォーラム会長
	佐藤 可土和	アートディレクター
	ロバート・キャンベル	東京大学教授
評議員	安西 祐一郎	独立行政法人日本学術振興会理事長
	今村 文彦	東北大学災害科学国際研究所副所長
	藤原 一繪	横浜国立大学名誉教授
	陽 捷行	北里大学名誉教授
	山折 哲雄	宗教学者
監 事	川瀬 修平	
理事・事務局長	新川 眞	公益財団法人 国際生態学センターコンサルタント
顧 問	秋元 康	作詞家
	安藤 忠雄	建築家
	江崎 玲於奈	物理学者
	大室 康一	三井不動産株式会社顧問
	倉本 聡	脚本家
	坂 茂	建築家
	澁澤 寿一	NPO法人樹木環境ネットワーク協会理事長
	千住 博	画家
	田中 恒清	神社本庁総長
	富木田 道臣	株式会社エフエム東京代表取締役会長